

# 所報

題字: 武田満之校長(平成9年、野幌中学校)

第144号 平成31年 3月 6日

## 江別市教育研究所所報

江別市高砂町24-6 Tel 381-1058

(主な内容)

- ・第2回小学校外国語教育指導連絡協議会
- ・「英語deトライ」
- ・平成30年度江別市教育研究所事業報告

## 第2回小学校外国語教育指導連絡協議会を開催

1月31日(木)に、今年度第2回目の小学校外国語教育指導連絡協議会を開催し、今年度の取組の反省と次年度に向けての課題について協議しました。

今年度の取組では、①先生たちの外国語活動に対する意識が変わってきたこと、②外国語活動の教科化について研修で取り上げるようになったこと、③ALTが主導の授業であっても、学級担任が教室前方に立ち、指導するようになったこと、④ALTとの打合せを朝や放課後などに工夫して行っていること、などが交流されました。

次年度に向けた課題としては、①授業を主導的に行う場面の学級担任とALTのバランスの在り方、②外国語科の評価の在り方、などが多く出されました。また、学級担任とALTの打合せは普段短時間しか取れないので長期休業を活用できないか、など新しい発想も出てきました。

ALTからは、①ALTに期待することを明確にした授業づくりを、②ALTの知識や経験を尊重し生かした授業づくりを、③仲間としてのコミュニケーションや情報提供を、などの要望がありました。

外国語活動は5・6年が教科に、3・4年が必修となる新学習指導要領の全面実施まで残り1年あまりとなり、各小学校ではいよいよエンジン全開で全面実施の準備や体制づくりに入ります。小学校9校の外国語活動巡回指導を行っている黒田浩美先生は現在、「単元ゴール」を明確にした5・6年の年間指導計画・指導案の参考例を作成しており、各小学校の移行期を乗り切る大きな助けとなります。教育研究所としましても黒田先生に指導助言をいただきながら、各小学校が円滑に全面実施に移行できるよう支援して参ります。

## 江別太小6年生が「英語deトライ」

児童が日常生活で使用する英語を用いた英会話に挑戦する機会をつくり、楽しさや達成感を味わわせることを目的に、江別太小学校に依頼して12月26日(水)に「英語deトライ」を実施しました。

具体的には、ファストフード、スタジアム、スーパー、動物園、果物屋のブースをセットした体育館で、児童がグループごとに国際交流員やALTと自己紹介や道案内、目的地での会話などを行うというものです。

江別太小学校の6年生83名は、最初は戸惑いもありましたが、5名のALTたちと繰り返し会話するうちに積極的な会話が目立つようになりました。

「分からなかったものもあるけど、きちんと教えてくれたおかげですごく楽しめた」「英語の先生方は皆優しく話やすかったし、分からないことがあれば質問を簡単にしてくれたので、英語で返すことができたから楽しかった」「外国の人と実際に話して英語を話す力が少しいた」などの感想があり、6年生に大好評でした。



# 平成30年度江別市教育研究所事業報告

江別市教育研究所は、教育の理論と実践について専門的研究を行うとともに、一層の教育の進展と充実を図るために、調査や資料の収集整理、教職員研修、関係機関との連携などに取り組んできました。本年度の主な取組を終えましたので、平成30年度の江別市教育研究所事業報告をいたします。

## 1. 所員会議について

### (1) 構成

所長 萬 直樹 (教育部長)  
副所長 谷口 圭吾 (学校教育支援室長)  
副所長 三浦 利章 (大麻中学校長)  
所員 上田 充士 (野幌中教頭)  
佐藤 龍三 (野幌小教諭)  
菅原 大樹 (中央小教諭)  
遠藤 絵里 (江別第二中教諭)  
三宅 典昭 (大麻東中教諭)  
事務局長 島田 茂 (江別市教育研究所)  
事務局次長 山本 正輝 (学校教育係)

### (2) 会議

第1回: 年間事業計画、所員の業務、夏期セミナーの内容  
第2回: 夏期セミナーの役割分担、意識調査の項目検討  
第3回: 夏期セミナーの反省、意識調査の集計の分担  
第4回: 意識調査の分析の分担  
第5回: 意識調査の考察の検討  
第6回: 今年度の事業反省、「調査研究報告書No. 34」の製本作業

## 2. 教職員夏期セミナーについて

今日的教育課題や情報モラル教育、ICT日常実践、市内巡り、体力向上、走り方指導、SSWの活用、アイヌ民族の歴史と文化、小学校外国語教育、理科実験の10講座を実施し、約420名が参加しました。内容面の評価では、全体として「大変良い」「良い」を合わせた割合は約90%でした。

## 3. 調査研究報告書No. 34について

「意識調査」に基づく調査研究報告は、昭和60年から毎年行っています。今年度の研究テーマを「望ましい家庭生活と学校生活を求めて」とし、児童生徒の家庭生活や学校生活における意識を、その保護者や過去の調査結果と比較しながら分析し考察しました。

## 4. その他の研修会や取組について

### (1) 電子黒板研修会

江別市に転入された教職員などの約20名の参加を得て、5月7日(月)に江別第一小学校を会場に、電子黒板研修会を実施しました。講師は市教委の渡邊ICT教育支援員が務め、電子黒板の基礎的な操作方法を中心に進めました。

### (2) LGBTに関する研修会

各小中学校教職員や「心の教育相談員」など約100名の参加を得て、12月14日(金)に市民会館小ホールで、LGBTに関する研修会を実施しました。講師は北海道セクシャルマイノリティLGBT協会代表の日野由美氏で、LGBTの実態と現状、学校におけるLGBTへの合理的配慮などについてご講演されました。

## 5. 小学校外国語教育指導連絡協議会の運営

第1回: 年間活動計画、実態交流、研修  
第2回: 活動の反省、課題交流  
研修: 第三中・野幌中の英語授業参観、大麻泉小・第二小の外国語授業参観・交流  
指導計画編集委員会: 1・2年英語活動指導計画・指導案の調査・見直し

## 6. 体力向上実践事業

(1) 今年度も北翔大学と文京台小が連携し「朝運動プログラム」の開発を進めました。  
(2) 「朝運動プログラム」普及出前授業は第一小・江別太小・大麻小で実施しました。  
(3) 北翔大学と近隣の中学校の協力を得て、平成27年度から小学校高学年を対象に「走り方教室」を開催しており、今年度は12校で開催し、大変好評でした。

## 7. 道研連研究大会函館大会への参加

当研究所は、北海道教育研究所連盟に加盟しています。8月30日・31日に函館市で開催され、事務局長が参加しました。

## 8. 所報の発行

本号を含め、8回発行し、広報活動に努めました。